証券コード：2613

2021年3月期 第２四半期 決算概況

2020年11月19日

株式会社J-オイルミルズ

問い合わせ先：
コーポレートコミュニケーション部　Tel.03-5148-7101

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

Agenda

1 2020年度2Q 決算概況

2 2020年度 重点施策

3 ESG経営の取り組み

4 今後の経営方針

5 参考資料

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

2020年度2Q　連結業績概要

単位：億円

	2019年度 2Q	2020年度 2Q	対前年 増減率	2020年度 上期予想	対予想	2020年度 通期予想	進捗率
売上高	905.2	783.2	▲13.5%	770.0	101.7%	1,600.0	49.0%
営業利益	41.8	27.9	▲33.2%	29.0	96.4%	70.0	39.9%
経常利益	44.1	29.5	▲33.1%	31.0	95.2%	74.0	39.9%
当期純利益(※)	32.3	21.2	▲34.4%	22.0	96.5%	54.0	39.3%

※親会社株主に帰属する当期純利益

● 決算のポイント

売上高	＋	新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭用製品の需要増加
	－	新型コロナウイルス感染症の影響により、主に外食向けを含む業務用製品の需要減退
	－	ミール価格の低下、搾油量減少によるミール販売数量減少
営業利益	＋	原料相場の下落を受けた原料調達コストの良化と、油脂価格是正への注力
	＋	コスト改善を進めることで、収益の確保に努める
	－	新型コロナウイルスの影響による業務用製品を中心とした需要減退
当期純利益	＋	特別利益:投資有価証券売却益　+0.9億円、
	＋	特別利益:東北物流拠点で発生した火災による受取賠償金を計上　+2.2億円
	－	特別損失:東北物流拠点で発生した火災による災害損失計上　▲1.3億円

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

2020年度２Ｑ　セグメント業績概要

単位：億円

売上高	2019年度 2Q	2020年度 2Q	対前年 増減率	2020年度 通期予想	進捗率
油脂	766.6	658.6	▲14.1%	1,338.0	49.2%
油脂加工品	63.9	58.7	▲8.1%	121.0	48.5%
食品・ファイン	67.9	61.0	▲10.1%	131.0	46.6%
その他	6.9	4.9	▲29.2%	10.0	48.9%
連結	905.2	783.2	▲13.5%	1,600.0	49.0%

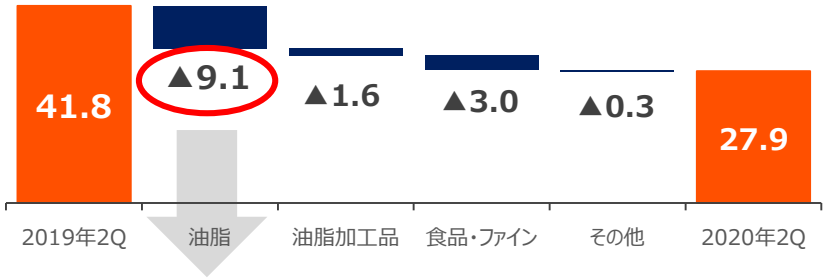
営業利益	2019年度 2Q	2020年度 2Q	対前年 増減率	2020年度 通期予想	進捗率
油脂	36.5	27.5	▲24.8%	60.0	45.8%
油脂加工品	▲ 1.3	▲ 2.8	-	1.0	-
食品・ファイン	5.3	2.3	▲56.0%	8.3	28.1%
その他	1.3	1.0	▲22.9%	0.7	138.8%
連結	41.8	27.9	▲33.2%	70.0	39.9%

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

2020年度2Q　営業利益増減分析

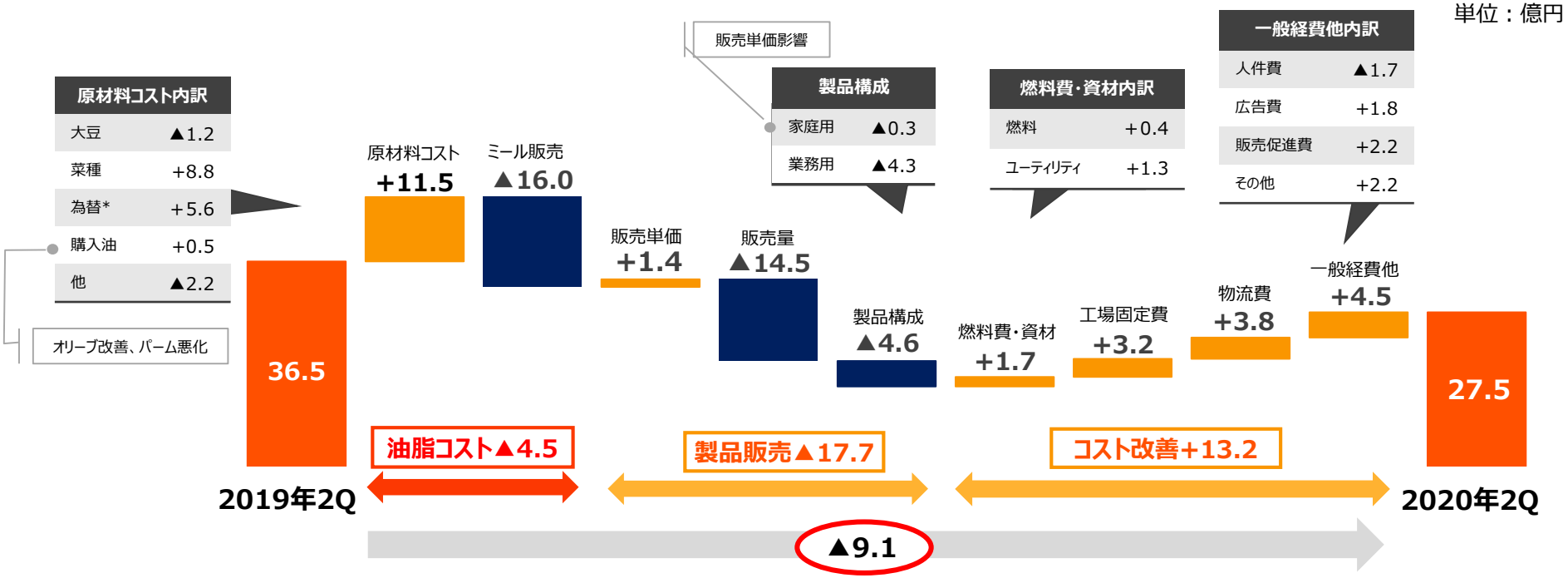
【セグメント別営業利益　増減】

単位：億円



【油脂事業　営業利益増減分析】

単位：億円



*為替・・・19年２Q:110円/1ドル、20年２Q・・・108円/１ドル

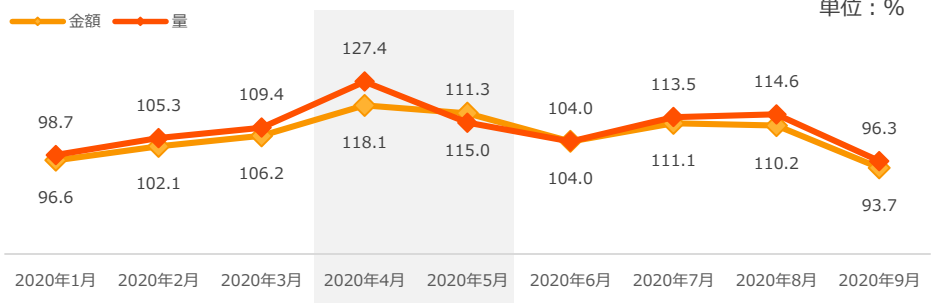
Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

新型コロナウイルスの決算への影響

＜市場環境＞

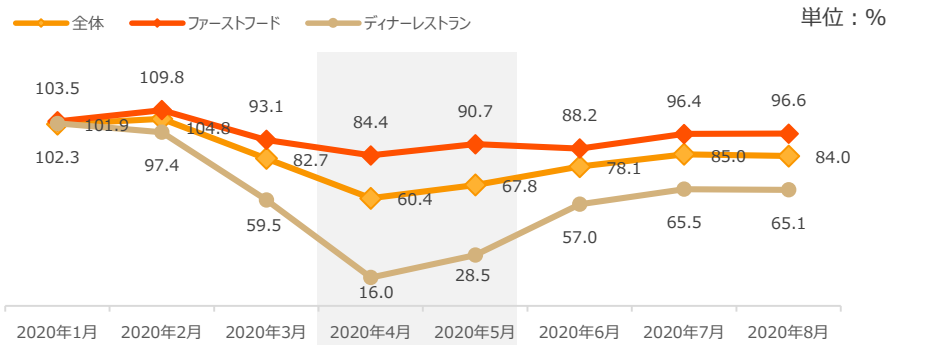
- 家庭用油脂:内食需要増加による伸長は4～5月をピークに落ち着く。
- 業務用油脂:外出自粛要請や外食店への休業要請等により大きく減退
  徐々に回復基調にあるものの多くの業態で前年を下回る。

【家庭用油脂　前年比較（平均購入規模×100）】



※参照データ： 株式会社インテージ「SCI」

【業務用油脂　外食産業市場動向調査　前年比較】



※参照データ:一般社団法人　日本フードサービス協会

＜当社の状況＞

- 家庭用製品は油脂、油脂加工品ともに好調に推移、
  一部製品で供給が追い付いつかず休売も発生したものの現在は回復
- 業務用製品は油脂の外食向け、
  油脂加工品のインバウンド向けを含む土産菓子向け減少
- ケミカルは新設住宅着工戸数が減少し、主な販売先である木質建材産業の需要減少
- 主な販売先が北米であるSOYシートが
  大幅に売上減少、回復傾向にはあるものの厳しい状況が続く

2020年２Q市場環境（前年比）

			2020年2Q 期初予想	2020年2Q 実績
油脂事業	家庭用		+5～10%	+5%弱
	業務用	外食向け	▲25%～35%	▲10%～20%
		加工用	横ばい～微減	▲10%前後
油脂加工品事業	家庭用		+0～5%	＋５%前後
	業務用		▲20%	▲10%前後
食品・ファイン事業	スターチ		緩やかに回復	▲2%～5%
	ケミカル		住宅着工戸数の底入れ	▲10%
	SOYシート		緩やかに回復	緩やかに回復
原料為替相場	原料		大豆・菜種相場の良化	菜種相場良化
	為替		通期で円高ドル安で固定	円高ドル安

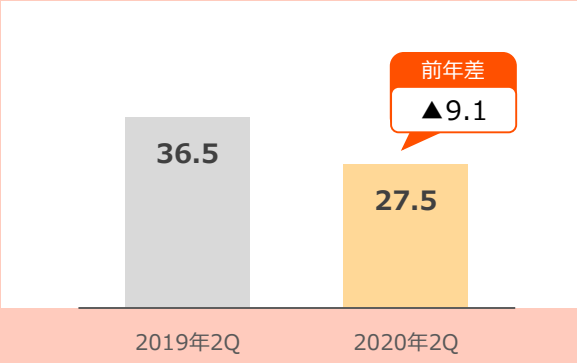
Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

セグメント別業績：油脂事業

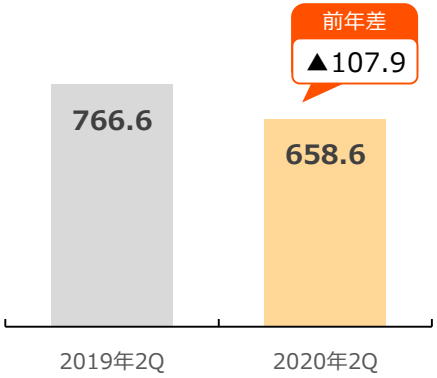
主要な事業内容

- 家庭用油脂・業務用油脂・ミール

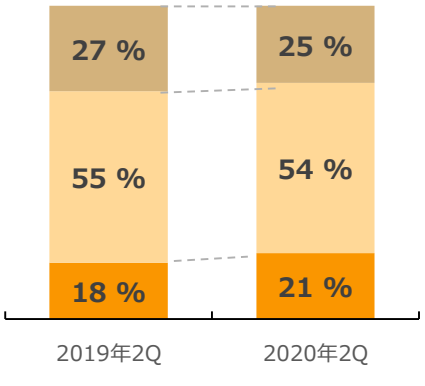
＜四半期営業利益（億円)＞



＜四半期売上高（億円)＞



＜売上高構成比＞



- 新型コロナウイルス感染症の影響により、内食需要の増加で家庭用油脂の販売量増加、外食企業を中心とした油脂需要の減少により業務用油脂の販売量減少、２Q以降回復基調
- 原料相場の下落を受けた原料調達コストの良化と油脂価格是正への注力
- ミール価格の低下と搾油量減少による販売量減少
- 製造コストと一般管理費減少によるコスト負担減少

営業利益増減分析

(単位:億円)

	営業利益	前年差		
		価格	物量	原材料他
家庭用油脂		▲ 0.8	＋ 0.6	
業務用油脂		＋ 0.7	▲ 18.3	
ミール類		▲ 9.3	▲ 6.8	
合計	**▲ 9.1**	**▲ 9.3**	**▲ 24.4**	**＋ 24.7**

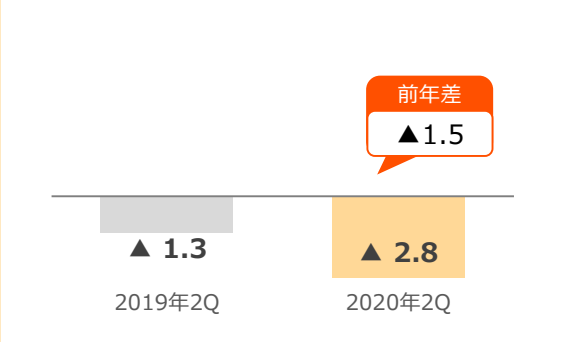
Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

セグメント別業績：油脂加工品事業

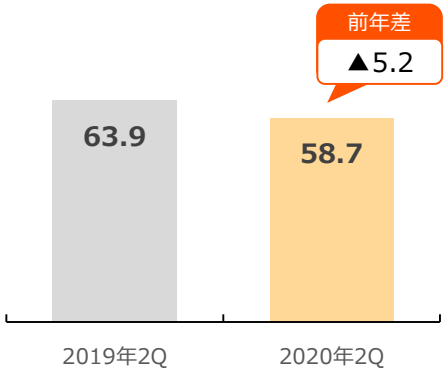
主要な事業内容

- マーガリン・粉末油脂

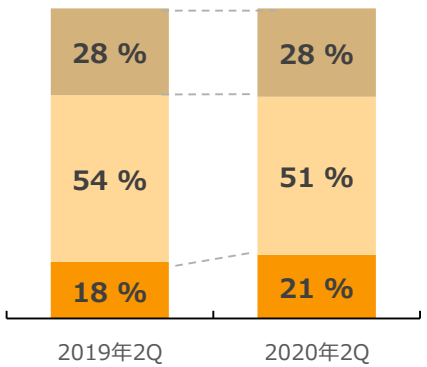
＜四半期営業利益（億円)＞



＜四半期売上高（億円)＞



＜売上高構成比＞



粉末油脂

業務用

家庭用

- 家庭用マーガリン:新型コロナウイルス感染症の影響により、内食需要の増加で家庭用の販売量増加。
- 業務用マーガリン:インバウンド、土産菓子向け需要減少により業務用の販売減少
  販売不振による賞味期限切れ在庫処分の増加
  新製品であるアイルランド産発酵バター配合製品の拡充に努めるが切替の遅れ
- 粉末油脂:前年並みの水準を確保

営業利益増減分析

(単位:億円)

	営業利益	前年差		
		価格	物量	原材料他
家庭用マーガリン		▲ 0.2	＋ 0.3	
業務用マーガリン		▲ 0.1	▲ 1.8	
粉末油脂		▲ 0.4	▲ 0.1	
合計	**▲ 1.6**	**▲ 0.7**	**▲ 1.7**	**＋ 0.8**

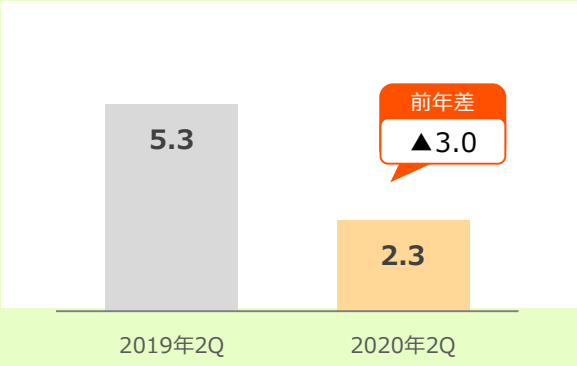
Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

セグメント別業績：食品・ファイン事業

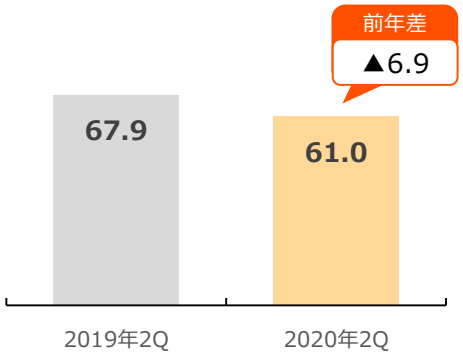
主要な事業内容

- スターチ・ファイン・ケミカル

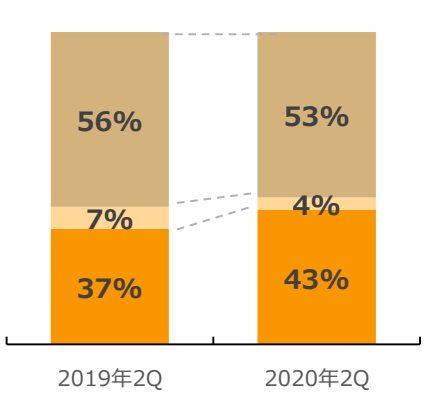
＜四半期営業利益（億円)＞



＜四半期売上高（億円)＞



＜売上高構成比＞



- スターチ:不採算品の改善と拡販に継続して取り組むことで販売量、売上高増加。
  高付加価値製品である「ネオトラスト」は品質・食感改良材として中食・外食への採用増加し堅調に推移
- ファイン :ビタミンK２の販売好調、新型コロナウイルス感染症の影響により主要販売先が北米である
  SOYシートの売上高減少、2Q以降、外食店の営業再開、テイクアウト需要喚起により回復基調。
- ケミカル:一部コストが良化したが、昨年の消費税増税駆け込み需要反動と、
  コロナ禍の影響による住宅需要急減、需要家の値下げ圧力の増加により、売上高及び数量が減少。

営業利益増減分析

（単位:億円）

	営業利益	前年差		
		価格	物量	原材料他
スターチ		＋ 0.3	＋ 0.7	
ファイン		▲ 0.6	▲ 0.5	
ケミカル他		▲ 2.3	▲ 0.8	
合計	**▲ 3.0**	**▲ 2.6**	**▲ 0.6**	**＋ 0.3**

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

Agenda

1 2020年度2Q 決算概況

2 2020年度 重点施策

3 ESG経営の取り組み

4 今後の経営方針

5 参考資料

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

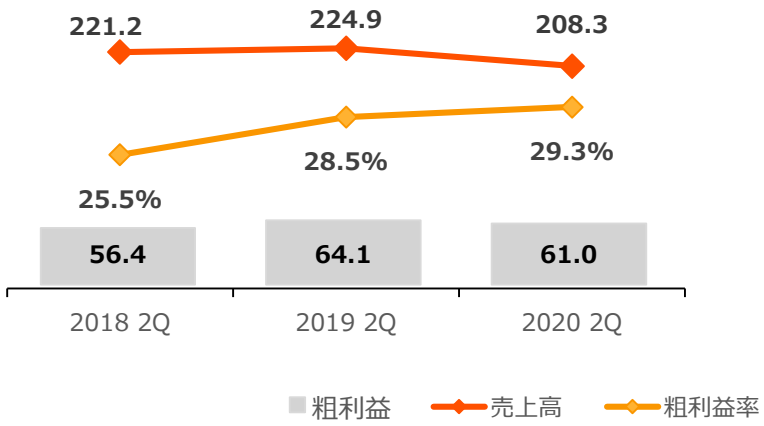
成長戦略①：高付加価値品拡大

- 新型コロナウイルス感染症の影響により売上高、粗利益共に前年を下回るが、粗利益率、連結構成比は増加

【高付加価値品推移】

単位：億円

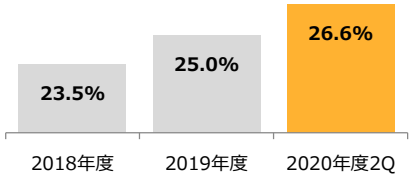
		2019年度 2Q	2020年度 2Q	対前年 増減率
高付加価値品	売上高	**224.9**	**208.3**	**▲7.4%**
	粗利益	**64.1**	**61.0**	**▲4.8%**
	粗利益率	28.5%	29.3%	-



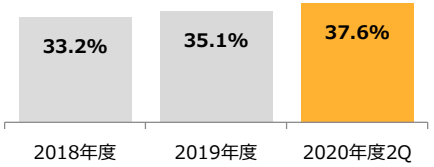
【売上高構成比】

【連結全体構成比】

➢ 売上高



➢ 粗利益



➢ オリーブオイルの売上高は3月に実施したTVCMの反響、新型コロナウイルスによる需要拡大等により、一部製品において在庫が逼迫し、5～6月に販促自粛した影響で前年比でわずかに減少した。７月から回復基調。

➢ 業務用は、新型コロナウイルス感染症の影響により販売数量減少、７月から回復基調であるものの前年比では厳しい状況が続く。

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

成長戦略②：アジアでの海外展開加速

- 国内で培った技術をベースにしながら、各国のトレンドを盛り込んだレシピ提案の実施

【タイ】テクスチャーソリューション事業

- J-Oil Mills (Thailand) Co., Ltd.　（JOT社）
- Siam Starch (1966) Co., Ltd.　（SSC社）

形態	ソリューション	エリア	活動内容
JV	食品用 加工澱粉 （スターチ）	タイ	JOT社による 食品加工用澱粉の販売事業

【成長機会】

- スターチを原料とするテクスチャーソリューション需要の増加
- 海外輸出力を背景に年間22万tの畜肉製品を供給するタイの畜肉産業へスターチ系機能素材を提供
- 年6%成長するタイの製パン市場へ、日式のパン技術を基礎に油脂加工製品とスターチ系機能素材を提供

【トピックス】　日系企業によるネオトラストの採用

機能性の油脂とスターチの組み合わせにより、業務用食品において、食感を改善したり、経時劣化を抑えるなど、様々な食品に利用されています。

【マレーシア】製菓製パン素材事業海外展開開始

- Premium Fats Sdn Bhd社　（PF社）
- Premium Vegetable Oils Sdn Bhd（PVO社）

形態	ソリューション	エリア	活動内容
M&A	製菓・製パン素材 （マーガリン・ ショートニング等）	マレーシア （ASEAN）	PF社・PVO社との業務提携 ASEANの製菓・製パン素材 市場へ参入

【成長機会】

- アジア太平洋州の製菓・製パン素材市場は食の西欧化の進展と共に2019年9,000億円から2024年まで毎年6.4%の年率成長が見込まれる。

【トピックス】　業務用製品　新商品発売

「SUN PRIME HM-JF」・「SUN PRIME LM-JF」

当社のマーガリン製品の強みであり、
高い信頼を得ているフレーバー技術を用いたバターフレーバーのマーガリンを発売

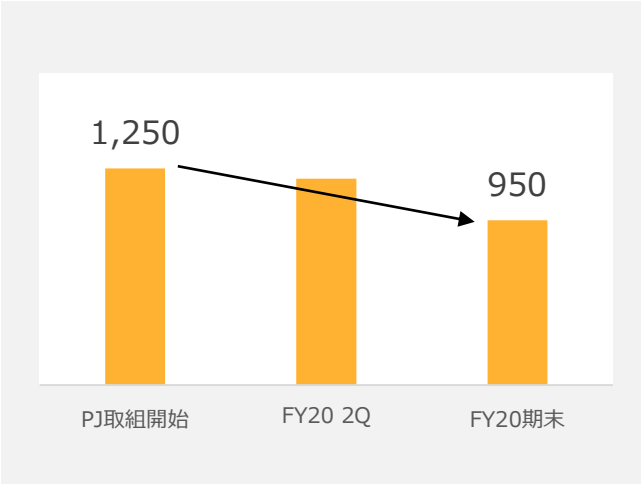
Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

構造改革①:SKU削減の取り組み

- 構造改革の基盤固めに貢献し、次期中計に向けた筋肉質化を徹底的に進める。

＜削減目標＞ **油脂20%、油脂加工30%、スターチ40%** ▶ ３事業合計 **300** 品目削減

＜SKU数＞



＜期待する効果＞

定量効果	◆	労務費削減
	◆	物流費減
	◆	製品・資材ロス減
	◆	切替油減
	◆	エネルギー使用量減
定性効果	◆	切替作業工数減
	◆	管理工数減
	◆	倉庫保管効率アップ
	◆	生産効率アップ

＜売上高・営業利益におけるインパクト＞

売上高	売上減少として **10億円強、終売によるもの**
営業利益	NET利益 **３～５億円改善** 今期末～来期にかけて利益改善

プロジェクト開始から削減品目の特定とお客様へのご説明を順次進めている。
２Qでは削減目標約２割の削減が実現し、下期以降も引き続き目標値の達成に向けてSKU削減に取り組む。

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

構造改革②

● 株式会社 J-NIKKAパートナーズ発足（10月１日）

株式会社 J-NIKKAパートナーズ

販売子会社の統合

概要

- 連結子会社である株式会社J-ウィズと日華油脂株式会社の吸収合併
  存続会社のJ-ウィズの商号変更（Ｊ-ＮＩＫＫＡパートナーズ）

目的

- 高付加価値品の販売および提案型営業を展開。両社間のサポート業務の共有化による効率化を図ると共に、当社グループ内での機能向上を目指す

● 日清オイリオグループ社との取り組み

日清オイリオグループ社との業務提携締結

これまで

概要

- 2020年３月末に川上領域である搾油工程までを範囲とした業務提携基本契約を締結。資本提携は考えていない。

取組み

- 両社の搾油設備を活用した搾油工程（原油と油粕の製造）の受委託：2020年７月より開始
- 原油と油粕の工場間での等価交換(スワップ)：2020年８月より開始
- 油糧種子や原料油脂の共同配船：下期より開始予定
- 災害による工場操業停止など供給に問題が発生した場合に協力する体制の構築：基盤を整備中

今後

概要

- 今後50年の環境変化を見据えた業務提携についての協議を継続。

取組み

- 岡山県倉敷市に有する両社工場を将来的に両社共同で運用していくことの実現可能性について協議を継続中。早期実現テーマとして、メンテナンスの共同化など相互技術向上に向けての取り組みも開始
- 倉敷エリアに留まらず、将来を見据えた国内全体の搾油体制に関する業務提携の可能性について協議を継続
- 政府が掲げる2050年温暖化ガス排出量ゼロ目標への対応など、社会的意義の視点も取り入れ国内搾油産業の長期的な課題解決と、持続可能な発展のための視点で協議を継続

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

財務戦略:BSとキャッシュフローの状況

連結貸借対照表

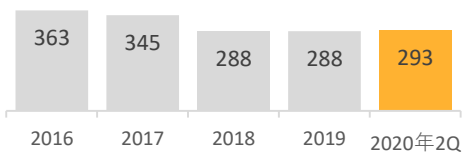
	19年期末	20年9末	増減
流動資産	**739**	**821**	**82**
現預金	84	203	118
売上債権	340	303	-36
棚卸資産	288	293	5
その他	28	23	-5
固定資産/繰延資産	**736**	**735**	**-2**
有形・無形資産	582	568	-14
投資その他	155	167	12
資産 計	**1,475**	**1,556**	**80**

	19年期末	20年9末	増減
負債	**579**	**639**	**61**
仕入債務	124	96	-28
有利子負債	189	333	144
引当金	52	49	-3
その他	213	160	-53
純資産	**897**	**917**	**20**
株主資本	859	872	13
包括利益他	35	41	7
非支配株主持分	3	3	0
負債・純資産 計	**1,475**	**1,556**	**80**

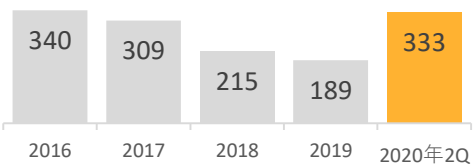
【BSの状況】

- 資産の部：手元資金確保のため現預金増加
- 負債の部：売上高減少による売上債権の減少、有利子負債の増加

棚卸資産の推移 (億円)

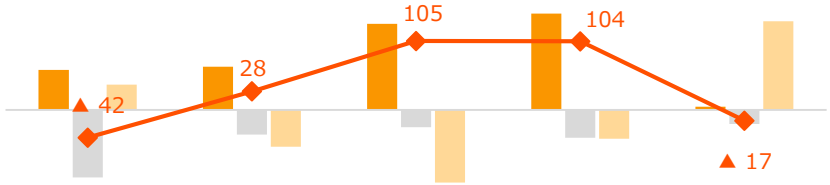


有利子負債の推移 (億円)



【キャッシュフロー推移】

- 営業C/F：税金等調整前四半期純利益の減少、法人税等の支払増加、運転資金の増加
- 財務C/F：短期借入金150億円調達



	2016	2017	2018	2019	2020 2Q
営業C/F	61	66	131	146	5
投資C/F	▲ 103	▲ 38	▲ 26	▲ 42	▲ 22
財務C/F	38	▲ 56	▲ 111	▲ 44	135
フリーC/F	▲ 42	28	105	104	▲ 17

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

Agenda

1 2020年度2Q 決算概況

2 2020年度 重点施策

3 ESG経営の取り組み

4 今後の経営方針

5 参考資料

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

国産オリーブオイル産出に向けた取り組み

- 国内オリーブ市場をけん引する企業として、日本の国内へのオリーブの定着と国産ブランドのオリーブオイルの産出に力を注ぐ

With Olives
伊豆オリーブみらいプロジェクト

東急株式会社(以下東急)、伊豆急ホールディングス株式会社(以下伊豆急HD)と業務提携し、
伊豆半島において東急・伊豆急HDによって行われてきた「伊豆オリーブみらいプロジェクト」に2019年10月から参画。
地域の関係者と共に、伊豆でのオリーブ栽培及び伊豆産オリーブのブランド化の推進を目指す。

当社貢献	
	● オリーブオイル評価（官能評価・理化学分析） ● 保管・充填に関する高い技術 ● オリーブオイルの製造過程で発生するミールの有効活用の知見 ● 幅広い販売網

➢ 2020年　10月植樹セレモニーを実施

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

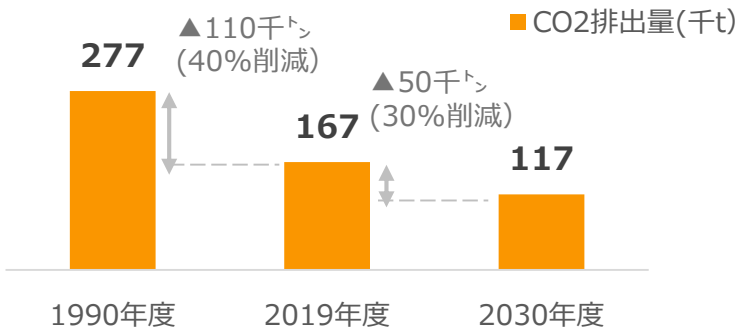
コーポレート・ガバナンスの強化

- サステナビリティ委員会の活動を開始

サステナビリティ委員会		
	環境部会	➢ 気候変動や環境問題への取り組みの推進
	サステナブル調達部会	➢ 社会ニーズに対応したサステナブルな原料調達とコミュニケーションの推進
	人権部会	➢ J-オイルミルズ「人権方針」の実効性担保に必要な方策の提案と周知の徹底
	サステナブル商品開発部会	➢ 全社視点で社会課題に対する消費者ニーズをくみ取り、情報収集、商品開発への提言、対外発信の実施

環境部会

- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への賛同
  リスクと機会に関するシナリオ分析に着手
- 温室効果ガス（GHG）の削減目標設定



※スコープ１、スコープ２

人権部会

- 「人権方針」策定
- 人権デューデリジェンスの実施

サステナブル調達部会

- 2020年７月 「パーム油調達方針」策定

持続可能な原料調達のため、「環境方針」や「人権方針」を基盤に、
「サステナブル調達方針・調達基準」を定め、
サプライチェーン全体で持続可能な調達活動を推進する。

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

Agenda

1 2020年度2Q 決算概況

2 2020年度 重点施策

3 ESG経営の取り組み

4 今後の経営方針

5 参考資料

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

2020年度損益予想

- 新型コロナウイルスの影響の前提を定め、2020年度は減収・増益を見込む。

【連結業績】

➢ 期初予想の据え置き

単位:億円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 通期予想	対前年 増減率
売上高	1,833.6	1,867.8	1,782.0	1,600.0	▲10.2%
営業利益	40.1	56.6	66.6	70.0	+5.1%
経常利益	51.4	63.3	73.0	74.0	+1.3%
当期純利益(※)	41.3	47.5	52.0	54.0	+3.8%

【業績予想前提（市場環境前年比）】

			2020年2Q 期初予想	2020年2Q 実績	2020年下期 期首予想	2020年下期 今回予想
油脂事業	家庭用		＋5～10%	+5%弱	＋0～5%	＋0～5%
	業務用	外食向け	▲25%～35%	▲10%～20%	▲20%～30%	▲10%～15%
		加工用	横ばい～微減	▲10%前後	横ばい～微減	▲５%～10%
油脂加工品事業	家庭用		＋0～5%	＋５%前後	＋0～5%	＋0%
	業務用		▲20%	▲10%前後	▲10%～20%	▲５%～10%
食品・ファイン事業	スターチ		緩やかに回復	▲2%～5%	緩やかに回復	▲2%～5%
	ケミカル		住宅着工戸数の底入れ	▲10%	緩やかに回復	住宅着工戸数の底入れ
	SOYシート		緩やかに回復	緩やかに回復	緩やかに回復	緩やかに回復
原料 為替相場	原料		大豆・菜種相場の良化	菜種相場良化	大豆・菜種相場の良化	
	為替		通期で円高ドル安で固定	円高ドル安	通期で円高ドル安で固定	通期で円高ドル安で固定

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

2020年度損益予想　セグメント業績概要

- セグメント業績についても、期初予想を据え置きとする。

【セグメント別業績】

単位:億円

売上高	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 通期予想	対前年 増減率
油脂	1,548.3	1,584.6	1,504.9	1,338.0	88.9%
油脂加工品	134.7	127.8	127.6	121.0	94.8%
食品・ファイン	133.6	141.0	136.6	131.0	95.9%
その他	17.0	14.5	12.9	10.0	77.4%
連結	1,833.6	1,867.8	1,782.0	1,600.0	89.8%

営業利益	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 通期予想	対前年 増減率
油脂	24.3	49.2	60.6	60.0	99.0%
油脂加工品	4.7	1.5	▲ 4.0	1.0	－
食品・ファイン	8.8	4.6	7.7	8.3	107.6%
その他	2.2	1.4	2.3	0.7	31.1%
連結	40.1	56.6	66.6	70.0	105.1%

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

第五期中期経営計画基本方針

事業戦略

成長戦略

1. 油脂・育成領域での高付加価値品拡大
2. BtoB市場でのソリューション事業強化
   ～強みの掛け算～
3. アジアでの海外展開加速
   ～国内で磨いた価値を基に～
4. 汎用油脂製品の収益力強化

＋

構造改革

1. バリューチェーンの効率化・高度化の取り組み推進
2. 中長期視点での生産拠点最適化
3. 選択と集中、および効率化

経営基盤強化

企業ビジョン体系策定・浸透、組織風土改革

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

第五期中期経営計画の進捗

- 2017年度を初年度とする４カ年の第五期中期経営計画では、
相場起点の装置産業から顧客起点の価値創造企業への転換を目指し、長期的な成長のための基盤づくりを目指す。

	事業戦略	これまでの取り組み
成長戦略	油脂・育成領域での 高付加価値品拡大	➢ オリーブオイル拡大 ➢ 「長調得徳」「J-OILPRO」を中心とした市場の拡大
	B to B市場での ソリューション事業強化～強みの掛け算～	➢ ソリューション事業部の立ち上げによる提案力の強化
	アジアでの海外展開加速 ～国内で磨いた価値を基に～	➢ タイでの事業強化 ➢ マレーシア油脂加工品メーカーPF社、PVO社への出資参画実行
	汎用油脂製品の収益力強化	➢ 相場の動向を反映した最適な採算構造の仕組み化 ➢ 価格重視の販売戦略の実行
構造改革	バリューチェーンの 効率化・高度化	➢ 味の素との包装材料共同調達開始 ➢ 「ホワイト物流」推進運動に自主行動宣言を提出 ➢ 新物流システム構築および運用開始
	中長期視点での 生産拠点最適化	➢ 住吉工場閉鎖 ➢ 倉敷工場立ち上げ ➢ 日清オイリオグループ株式会社との業務提携締結
	選択と集中、および効率化	➢ 静岡配合飼料事業再構築 ➢ 坂出事業所の資産の売却 ➢ 健康食品事業の撤退、インドRuchi J-Oil Private Limited清算手続き ➢ 生産子会社統合（株式会社J－パック） ➢ 販売子会社統合（株式会社J－NIKKAパートナーズ）

2020年下期は最終仕上げとして、家庭用事業の強化、SKU削減、日清オイリオグループ株式会社との業務提携を含む構造改革を充填施策として取り組む。

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

主な経営指標

- 新型コロナウイルスの影響により、中計の目標は達成しない見込みだが、収益力の拡大に向け、引き続き取り組んでいく。

（億円）

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 予想	2020年度 中計目標
売上高	1,873	1,802	1,834	1,868	1,782	1,600	2,150以上
売上総利益	294	328	303	348	364	–	–
営業利益	46	55	40	57	67	70	80以上
営業利益率（%）	2.5%	3.0%	2.2%	3.0%	3.7%	4.4%	3.5%以上
EBITDA	88	98	89	106	117	120	–
当期純利益	30	33	41	47	52	54	–
ROA（%）	1.9%	2.0%	2.6%	3.2%	3.5%	3.4%	4.0%
ROE（%）	3.7%	4.0%	4.9%	5.6%	5.9%	5.9%	5.0%以上
EPS（円）※	178.7	195.9	249.5	288.6	316.2	328.1	300以上
D/Eレシオ	0.40	0.47	0.42	0.30	0.26	0.24	0.50
フリーC/F	44.8	△42.3	28.1	104.5	104.1	–	–
CCC（日）	109.6日	117.4日	116.6日	112.3日	114.4日	–	–
一株当り配当額(円)※	90	90	90	90	100	100	
配当性向	50.4%	45.9%	36.1%	31.2%	31.6%	30.5%	30%以上

※株式併合換算後

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

目指すべき未来

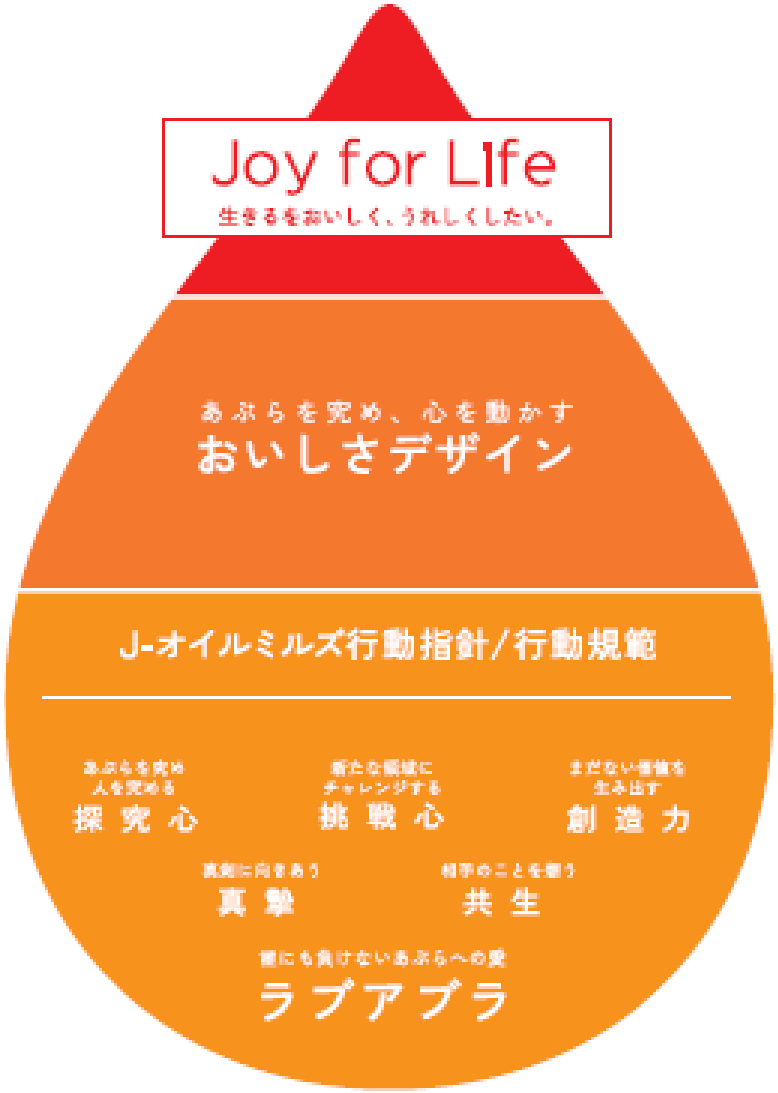
J-オイルミルズが目指すべき理想の未来を
表した言葉。この未来に向かって努力し
進化し続ける意志となります。

私たちの使命

今までも、そしてこれからも
私たちが果たすべき社会的使命を表した言葉。
他にない強みを活かし、新たな価値を創造していく
原動力となります。

私たちの価値

私たちの先達が培った資産を受け継ぎ、
誰にも負けないあぶらへの愛を重ね合わせて、
日々の行動へと、つなげていくこと。
そのすべてを私たち独自の価値として磨いていきます。



Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

Agenda

1 2020年度2Q 決算概況

2 2020年度 重点施策

3 ESG経営の取り組み

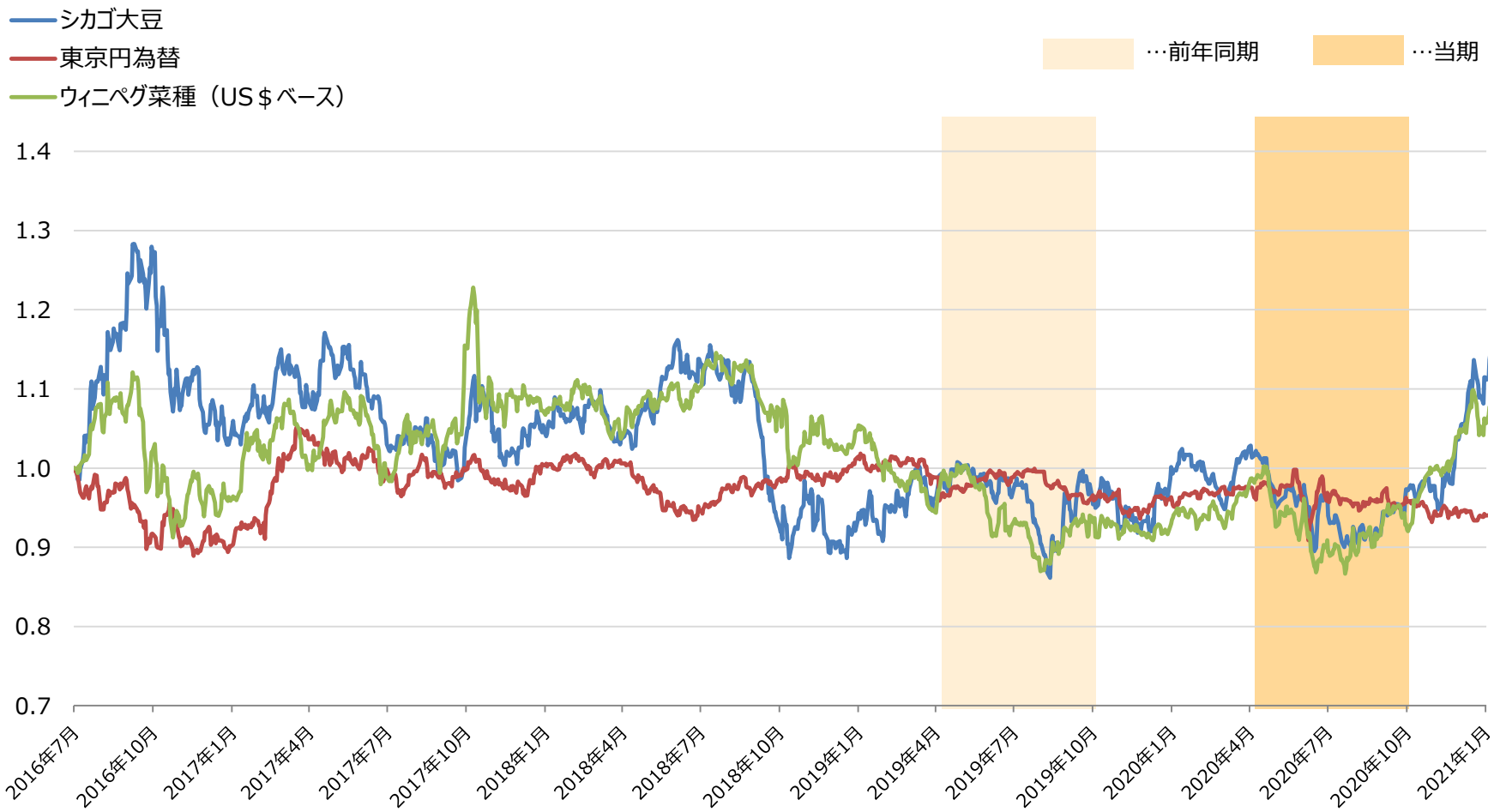
4 今後の経営方針

5 参考資料

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

＊原料調達状況に近づけるため、相場データを３ケ月ずらして表示(2016年4月を1とする)



Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

ミールバリューの動向

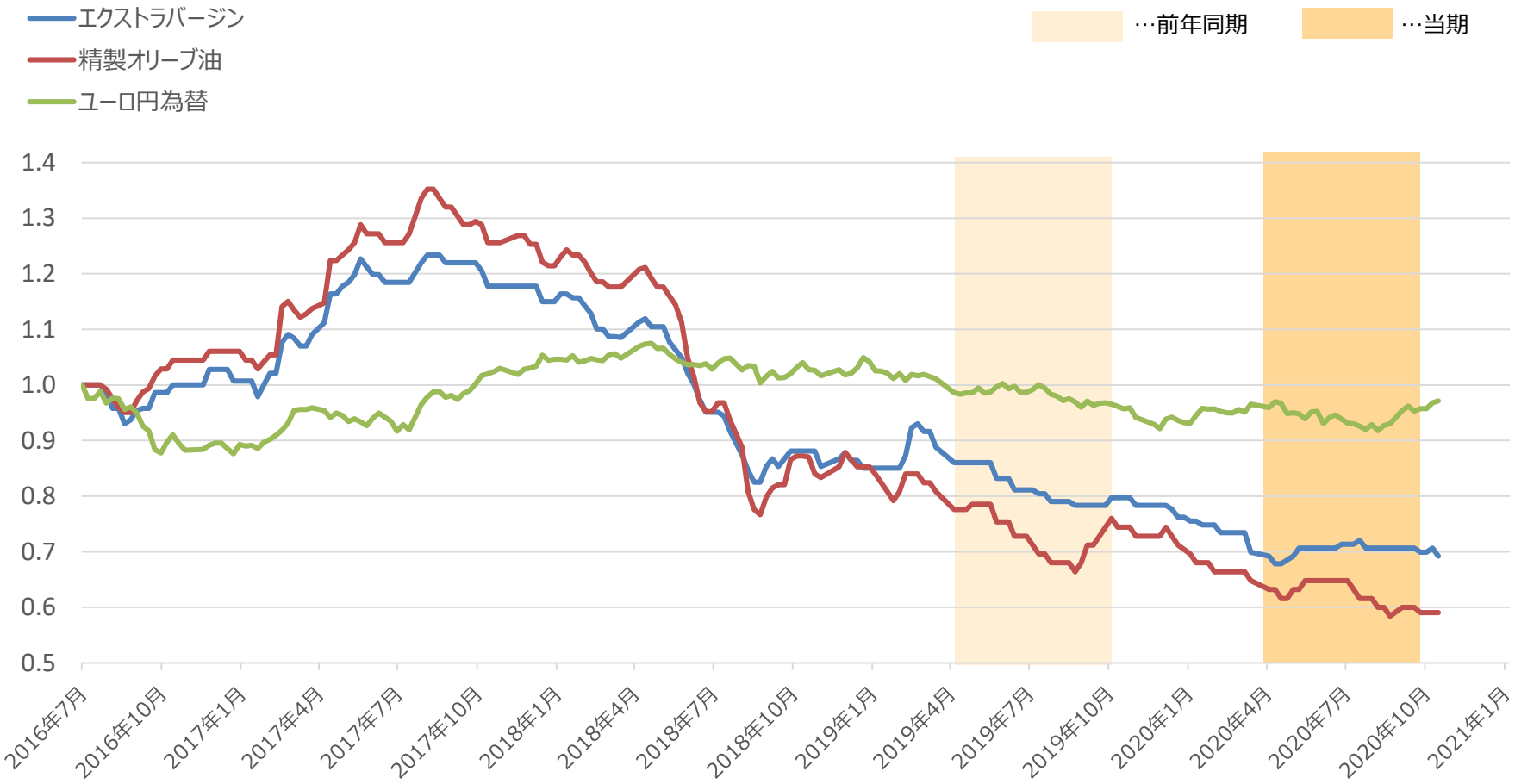
原料相場は大豆・菜種ともに上昇傾向だが、南米の干ばつなどからミールバリューが高めに推移。

＊シカゴ大豆定期１ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆１ブッシェルの価格の差

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

＊原料調達状況に近づけるため、相場データを３ケ月ずらして表示(2016年4月を1とする)



Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

ステークホルダーとのコミュニケーション強化

- 今後も、ステークホルダーの皆様へのより充実した情報発信を目指して参ります。

➢ 2020年9月にコーポレートサイトリニューアルを実施

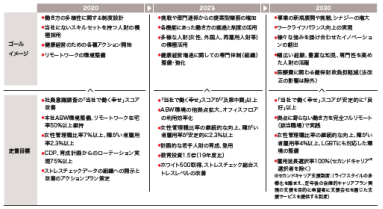
POINT

- 【研究開発】ページの新設
- 【レシピ】ページをリニューアル
- 【サステナビリティ】ページを拡充

URL https://www.j-oil.com/

➢ 2020年11月にＪ-オイルミルズレポート発行

POINT



- マテリアリティに紐づく2030年までの目標を開示
- 独立社外取締役との座談会実施
- 価値創造の源泉である研究開発、成長戦略として注力分野である海外事業展開について掲載

URL https://www.joil.com/ir/library/Integrate_report.html

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.

本資料取扱上の注意

- 本資料の金額は、四捨五入で表示しています。
- 本資料記載の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。
  実際の業績は、さまざまな要因により本資料の予想とは異なる結果となる可能性が
  ありますことをご承知おきください。

Copyright©2020 J-OIL MILLS ,INC. All Rights Reserved.